

日本語教室部会が谷津小の「潮なまつり」に参加しました 子供たちの「驚きと発見」がうかがえました

石井玲子(日本語教室部会)

11月17日(土)、谷津小学校の「潮なまつり」に参加しました。

潮なまつりは、年に一度の、保護者・先生がたが一体となって行われる、子供たちの楽しいお祭りで、人気のPTAのバザーや炊き出しに加えて、子供たちのアクティビティや、スポーツ団体や管弦楽クラブなどが企画したコーナーがありました。

当日の国際交流協会のコーナーは、インド・韓国・タイ・台湾・中国・パキスタン・フィリピン・フランス・ベトナムからの学習者やその家族(計16名)、ボランティア(計24名)やその他関係者(計15名)などの方々(合計55名)に参加いただき、賑やかな場となりました。

学習者たちは、自国の机に次々と訪れる子供たちに、それぞれの国の文字で子供たちの名前を書いたり、国の言葉で挨拶をしたり、子供たちの質問に答えたりと、忙しい半日でしたが、皆さん終始にこやかな笑顔で、国際交流を楽しんでいたようです。

民族衣装を着て参加した学習者に子供たちが目を輝かせて、「きれい!」という声も聞こ

えてきましたし、民族衣装を試着できるコーナーでは、保護者の方も大喜びで子供たちの写真を撮ったりしていました。

子供たちは、それぞれの国のおもちゃや本、食べ物・お菓子など、生活をうかがい知れる展示物などにも興味津々でした。また知っているお菓子や本がその国からきたことや、日本と同じような乗り物や生活雑貨が国によって少し違いがあることに驚いたり、日本にはない習慣など、新しい発見もしたようです。「名前だけは知っている国」であったのが、この半日で身近に感じられるようになったのではないのでしょうか。

今回のイベントで子供たちの心に国際交流の種を蒔くことができたとしたら、また、学習者たちにも日本にもっと親しみを持ってもらえたとしたら、こんな喜ばしいことはありません。

最後になりましたが、今回、国際交流の趣旨にご賛同いただき、活動の場を提供してくださった谷津小PTA、先生がたに心より感謝申し上げます。



イベント終了後、参加者の皆さん。右端から2人目が筆者



自国を紹介する学習者